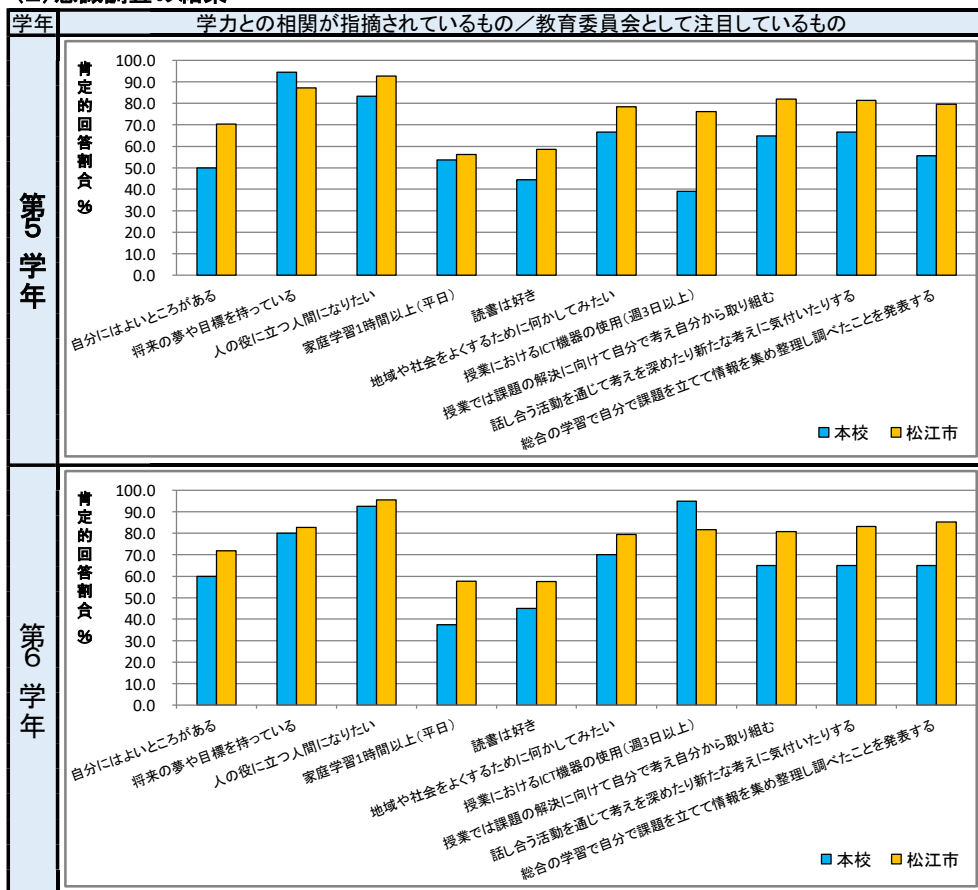


(1)教科調査の結果

学年	教科	分析(成果○/課題●)	改善策(・)
第5学年	国語	<p>成果</p> <p>○都道府県,市町村の平均をすべて上回っていた。知識・技能については,目標値を4.5%上回っていた。選択肢から正解を選ぶ問題で,正解率が高かった。</p> <p>課題</p> <p>●思考力・判断力の項目では,自分の考えを書く力や,書かれている意図を読み取って要約する力が弱いことが分かった。今回は,タブレットでのテストだったため,そもそも入力に困難であったり,抵抗感を示したりする児童もあり,時間内に入力できず未回答の児童もいた。</p>	<p>・3年生からタイピングの練習を学校全体を通して計画的に推進し,入力に慣れておくことも必要だと感じた。</p> <p>・自分の考えを書くこと(朝のスピーチ原稿を書く等)を今後も取り入れていく。</p> <p>・作文指導や日々の授業で感想文指導を行う。</p>
	算数	<p>成果</p> <p>○算数は,総合,知識・技能,思考力・判断力においてすべて都道府県,松江市の平均を上回っていた。特に「数と計算」「図形」「変化と関係」の問題の正解率が高かった。今までの学習で積み重ねてきたものや,イメージしやすい問題は解きやすいと考えられる。</p> <p>課題</p> <p>●全国平均と比較すると,ほとんどの項目で下回っている。正解率が60%に達している児童が全体の52%を占めていた。個人差が大きく,基礎的な計算にも困難さがある児童が数パーセントいる。どう下支えしていくかが課題である。</p> <p>●「データの活用」の正解率が低く,分数が入ってきたり,イメージしにくかったりする問題に課題が見られる。</p>	<p>・個別の指導や声掛けを継続して行っていく。</p> <p>・グループ活動を適宜取り入れ,効果的な学び合いの場を取り入れる。</p> <p>・文章題で,図や線分図を自分の力で書き,問題に取り組む力をつける。</p>
第6学年	国語	<p>成果</p> <p>○言葉の特徴や使い方に関する事項,書くこと,読むこと,の正答率が市町村の平均を上回っていた。全体的に無答率が低く,記述の問題にも取り組もうとする姿勢が見られた。</p> <p>○敬語の使い方,漢字を正しく使うなどの正答率が特に高かった。</p> <p>○パンフレットを書くなどの経験のある問題は全体的によくできていた。</p> <p>課題</p> <p>●言葉の使い方に関する事項,情報の扱いに関する事項の正答率が低かった。</p> <p>●修飾語,漢語など,これまでの国語の学習での小単元の内容が定着していない。</p>	<p>・引き続き,条件を与えたり目的を持ったりした上で書く学習をすることを大切にする。</p> <p>・小単元の内容を日ごろから意識して学習の中に取り入れたり,宿題等で振り返ったりすることで,定着を図る。</p>
	算数	<p>成果</p> <p>○問題文を図に表したり,文字を使った式に表したりすることはできる。(文字と式 市町村平均64.9 宍道小63.2)</p> <p>課題</p> <p>●すべての領域が市町村平均を下回っていた。特に,数と計算の正答率が低かった。</p> <p>●分数のかけ算,わり算の正答率が低い。計算に時間がかかったためか,後半の設定問の無答率が非常に高く,時間内に最後まで問題を解けていなかった可能性がある。</p>	<p>・計算力を高める。低学年からの積み重ねが必要であると感ずる。</p> <p>・「なぜそう考えたか」「なぜそうなるのか」ということを図や絵を使って説明する時間を大切にする。</p> <p>・考えるときには,すぐにペアなどにするのではなく個人思考の時間を十分にとることで,自力解決の力をつけていく。</p>

(2)意識調査の結果



＜傾向と今後の対策,分析＞

成果○:強み/伸ばしたい点 について
課題●:弱み/改善を要する点 について

【第5学年】

○総合で,「自分成長プロジェクト」と題し,出前授業や職場見学を行った。これらの経験を通し,世の中には様々な職業があると知り,視野を広げることができたのではないかと考える。

●他の項目はすべて自己肯定感の低さが表れているようである。校内,校外において様々な経験を積むことにより,自信を高めることができるようにする。

【第6学年】

○ICT機器の扱いに長けている児童が多い。学習の中で自分に合ったICT活用する方法を見つけたいとさらに上手に使うことができると感じる。

●全体的に市町村の平均を下回っている。日ごろからの声掛けや励まして自己肯定感を高めていくことが大切である。

●家庭学習は家庭との連携が必要である。

【R7学力調査受検者数】

第5学年	54	名
第6学年	41	名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は,最少の受検者数をもって表示